

あしたに向かって

県立はまなす特別支援学校 キャリア教育部 令和6年8月30日(金)発行

残暑お見舞い
申し上げます

進路だより
第52号

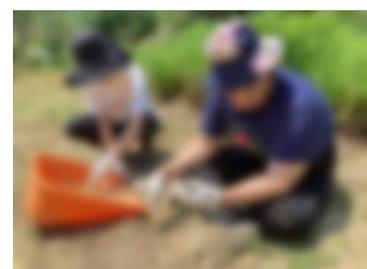
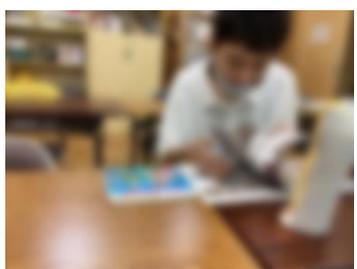
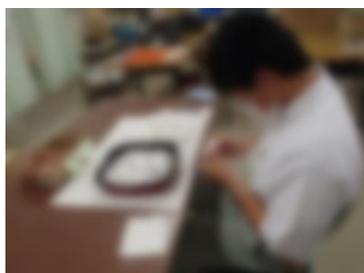
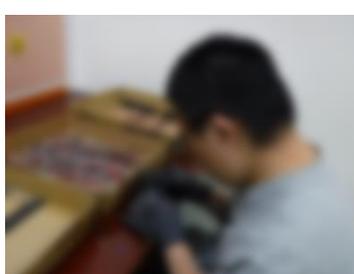


残暑厳しい日が続いております。保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。進路便り第52号は、1学期に高等部で行われた現場実習の様子を紹介します。2学期は、PTA研修部が実施する「福祉事業所の見学会」、学校の進路・キャリア教育部が実施する「進路学習会」、高等部A・Bコースの校内・現場実習など、多くの進路行事が予定されています。保護者の皆様からのご参加をお待ちしております。よろしくお願いします。



高等部「前期現場実習」の紹介

6月10日～6月28日に、現場実習・校内実習を行いました。2、3年生はそれぞれの希望進路先に合わせた事業所や企業で現場実習を行い、1年生は次年度の現場実習を目指して、普段の作業学習とは異なる内容で校内実習に取り組みました。それぞれの実習先では、学校とは違う環境の中、一人一人がもてる力を発揮し実習をやりきったことと思います。保護者の皆様からは準備や毎日の日誌の記入、通勤練習等、ご協力いただきありがとうございました。



【実習受入事業所一覧】

たいようSOCIOセンター	3名	茨内地域生活支援センター	1名
たいようSOCIOセンター日吉	5名	ふれ愛サポートセンターいずもざき	1名
こすもす作業所	2名	にしやまの里	1名
カフェみるく	1名	太陽と月	1名
アトリエぽっけ	2名	ふれんどり～ライフよしかわ	1名
かしわハンズ	1名	結屋	1名
喫茶めぐ	1名	SUPER CENTER PLANT-5刈羽店	1名
夢工房	2名	米谷製作所	1名
GRANBASE	3名	デイサービスセンターえみふる	1名

【実習受入事業所様より（評価記述）】

- 挨拶が元気よく、明るくできていたので、作業へスムーズに入ることができていました。
- 周囲からの助言をしっかり聞き入れ、素直に指示に従っていました。好感がもてます。
- 言葉での発信は難しいですが、頷いたり、合図したりするなどして、声掛けや指示に答えてくれました。事業所の環境にも慣れることができました。
- 初日や最終日に保護者の方と一緒に、しっかりと挨拶ができました。保護者の方が、毎日、実習日誌を丁寧に記入してくださり、帰宅後の様子や変化を注意深く見取っていただき、とても協力的で助かりました。
- 決められた時間、席に座って作業をすることができました。離席もほとんどありませんでした。
- 前回の実習と比較して、落ち着いて集中できる時間が増えました。「もしかして、間違えたかもしれません。」と、確認の相談をすることができました。
- ★支援者の声掛けがないと、挨拶や分からないことの質問ができないので、自分からできるようになるとよいです。
- ★大きな声で、元気よく挨拶をしてください。支援者は挨拶の声や仕草から、その日の調子や体調をうかがうことができます。
- ★日常生活動作（着替え、食事、排泄、手洗い、鼻をかむ、歯磨きなど）に対する支援が必要です。声掛けや指示を受けて、素直に行動できるように練習してください。
- ★修正や指示に従うことに時間を要します。
- ★楽しさだけでなく、厳しさや我慢の態度を身に付けさせてください。
- ★周囲が気になり、集中力が短くなります。苦手な作業に消極的です。残りの学校生活で、少しずつ改善を目指してください。

重要! 受け入れ事業所様より、様々なお褒めの言葉、今後の改善点を伺いました。生徒の卒業後の進路実現に向け、時に、厳しいご指摘を聞かせていただきます。特に★の部分は、実習に限らず、すべての児童生徒に必要な力です。こうしたお話を真摯に受け止め、保護者の皆様と共に生徒への支援に生かしていきたいと思っております。

「前期現場実習」に関する保護者アンケートに関して

現場実習期間の終了後に、保護者の皆様よりアンケートへご協力をいただきました。大変ありがとうございました。皆様からのご意見やご要望を受け、今後の実習運営、進路指導に生かして参ります。

問1 実習先はお子さんにとって適していましたか？

はい 20人	<ul style="list-style-type: none"> ・緊張しすぎず、落ち着いて実習できたため。 ・毎日生き生きと実習に通い、やりがいを感じていたため。 ・支援員の方々のおかげで、毎日、嫌がることなく実習に通えたため。 ・卒業後の生活に向けて、本人の自覚を促す体験となったため。 ・子供が生き生きと働き、やりがいと充実感をもってくれたため。
いいえ 2人	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の楽しさを感じ充実していたが、本人が少し無理をしていたと感じるため。 ・学校のCUより楽だと言っていたため。

問2 実習期間はお子さんにとって適していましたか？

はい 21人	<ul style="list-style-type: none"> ・無理なく集中して作業ができ、ちょうどよい日数でした。 ・実習時間が長いので、ストレスを溜めることなく適切な日数でした。 ・初めての現場実習だったので、無理がなくちょうどよかったです。
いいえ 1人	<ul style="list-style-type: none"> ・期間を長くすれば良かったです。

問3 実習受け入れ事業所への意見や要望

<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろとご配慮いただき落ち着いて実習期間過ごすことができ、ありがたく思います。 ・本人の特性に合わせて内容を工夫してくださいました。また、暖かい声かけや見守りなどとてもありがたかったです。 ・受け入れ時間が学校より遅く、交通手段などが限られた為少し不便でした。 ・本人のことを良く理解していただき必要な支援をしていただけたと思います。
--

問4～7 実習前、実習中のお子さんの様子について

期待や意欲	実習前	実習中	緊張や不安	実習前	実習中
十分に感じられた	10人	14人	強く感じられた	3人	3人
やや感じられた	12人	8人	やや感じられた	13人	10人
感じられなかった	0人	0人	感じられなかった	6人	9人

問8 お子さんの成長を感じられたこと、気になったことを記入してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・初めての現場実習、また初めて会う自分よりも年上の方々の中で戸惑うのではと心配しましたが、本人からは不安などは感じられず、その場の雰囲気になじんで、楽しそうな表情が見られて安心しました。草取りなどの外の作業や事業所内の掃除などマイペースで頑張れたようでした。初めて現場実習を終えてまず第一歩踏み出せたようで嬉しかったです。 ・実習後の仕事体験で、自分から働こうと意欲が見られました。また、根気よく取り組めるようになったり、自分の順番が来るまで待っていられたりするようになりました。 ・バスが遅れて実習先にギリギリについた際に、実習先の方に「遅くなって、すみません。理由はバスが遅れたからです。」と授業で習ったことを実践できたことに成長を感じました。 ・昨年よりは作業に慣れたようで、極端に疲れた様子は見られませんでした。今回は自力通勤したこともあり、更に自信がついたようです。

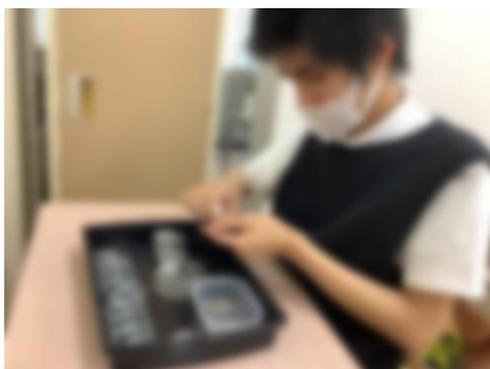
高等部の現場実習は、事業所様、企業様のご厚意とご協力のおかげで実施できています。どの事業所様も、たくさんの利用者様がいらっしゃる中、職員さんの手を何とかやりくりして、「〇日なら」「〇人までなら」と実習をお引き受けくださっています。実習中のみならず、事前打ち合わせ、事後の評価票の作成など、たくさんの方の時間をいただいて、実りのある実習が実現しています。

早く実習をお引き受けくださることへの感謝の気持ちを持ち、可能な範囲で最大限の成果が出るよう調整してまいります。どうか引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

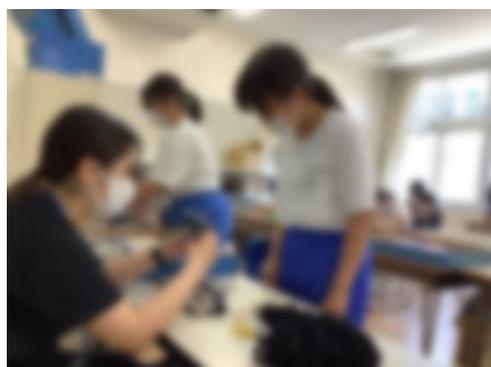
現場実習に関するお詫び

このたびの現場実習につきまして、実習先様との打合せ内容を保護者の皆様にお知らせする際、一部、不正確な点があり、実習生・保護者の皆様、受入先事業所の皆様にご迷惑をおかけしてしまいました。大変申し訳ございませんでした。今後はお知らせ等に誤りがないよう、確実に運営を行います。

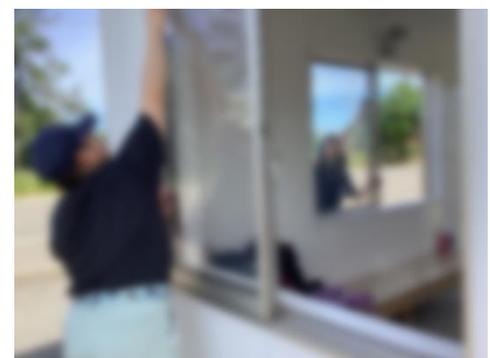
高等部「前期校内実習」の紹介



↑デイライフはまなす：ボルトナットの組み立て作業や、スリッパ消毒、リサイクルセンターへ資源ゴミの運搬などを行いました。



↑ワークセンターはまなす：学校敷地内の除草作業や花の苗植え、マット編み、ピンセットを使用してのビーズの分別作業（精密さを身に付ける練習）などを行いました。



↑はまなすベストサービス：清掃技能の向上を目指し、松波3丁目バス停待合室や校内の清掃作業、清掃技能検定の実施、封筒作り、ペーパーバッグの作成などの事務作業を行いました。